

Jazzy or Brazilian? "VOCAL" Live ♥

ジャズ&ボサノヴァ ヴォーカルライブ ... Colorful Notes ... ♪

出演: 齋藤十萌子(Vo)、 助川太郎(G)、 勝本宜男(B)

日時: 2016年 12月16日(金)

18:30 Open 19:30 Start (2ステージ)

会場: 「Jazz Inn Relaxin'」 (Tel: 022-223-1106)
仙台市青葉区一番町2-7-3 サンモール日泉ビル4F

MC: 2800円 (税込・1ドリンク付)



＜勝本宜男＞

埼玉県生まれ。大学時代にジャズ研でベースを手にする。卒業後、企業勤務をしながら、仙台市内のライブハウスで演奏活動を開始する。

2007年、北海道旭川市でライブハウス「Jazz and so on Vir」を開業。経営の傍ら国内外の多数のジャズミュージシャンとの共演を果たす。2012年、拠点を再び仙台に移し音楽活動を開始した。仙台ジャズ界限、プロアマを問わず、今最も引っ張りだこのベーシストである。



＜齋藤十萌子＞

仙台生まれの仙台育ち。スタンダードナンバーをこよなく愛し、その美しいメロディや言葉の世界をストレートに丁寧に表現することをモットーとしている。曲の中に深く息づく言葉に彼女なりの色彩を加え、独特のモーキーヴォイスで心が満ちた歌世界を描き出す。2000年から2013年春までジャズシンガー・伊藤君子氏に師事。2008年3月、第27回浅草JAZZコンテスト「ボーカル部門」本選大会出場・敢闘賞。2011年4月、ジャズギタリスト・塩本彰氏の全面サポートにより、ツインギター＆ボーカルという稀有な編成でのアルバム「AS TIME GOES BY」(自主制作)をリリースした。



＜助川太郎＞

1973年、東京生まれ。2001年、米パークリー音楽大学ギター科卒業。2003年よりEMIKO VOICEとのデュオユニット「メヲコラソン」でメジャーデビュー。2013年、ソログитарリストとしての活動をスタート。ギター1本の完全独奏によるアルバム「This is guitarist」を発表(レコード芸術誌準特選盤)。ブラジル音楽を中心に、ジャズ、クラシック、タンゴ、即興、エフェクターを多用したエレクトリックサウンド、民族楽器「ロキ」など、様々な要素が混然一体となった「ソログитарワールド」で、現在も全国ツアー中である。仙台においては、仙フィルコントラバスソロ首席奏者・助川龍氏(弟)と「助川ブラザーズ」を結成し、2015年から仙台クラシックフェスティバル(せんくら)に出演し、毎回Sold Outを記録している。仙台には隠れファンが多い。

お問い合わせ&ご予約は…、

Jazz Inn Relaxin' 022-223-1106、Email: tomsaito@cat-v.ne.jp (齋藤宛て)